

山梨県★出身隊員の紹介(陸上自衛隊)

私が所属する第1特科隊は、山梨県唯一の駐屯地である北富士駐屯地に所在しています。陸上自衛隊で唯一の礼砲部隊であり、最近では天皇陛下が国内外に即位を宣言された即位礼正殿の儀において礼砲を実施しました。また、今年開催された東京オリンピックにおいて、地元山梨で実施された自転車ロードレースの警備任務に就きました。

私は、日常の業務では、中隊の通信隊曹を担っています。業務内容は通信器材を管理し、点検・整備を行っています。いついかなる時でも通信器材が正しく使用できるように常日頃から心がけています。



第1特科隊第3中隊
3等陸曹 梶浦 俊也
(県立富士河口湖高校卒)

また、訓練の際には通信班として訓練に参加しています。第1特科隊は155ミリ榴弾砲(FH70)という砲を使って射撃を行うのですが、その射撃を行う際の通信の構成・維持・運営を行っています。通信はつながって当たり前と思われていますが、実際には想像以上に難しく、厳しいものです。その通信が繋がった時には達成感を感じています。

自衛隊では一般の人では経験できないことや知識を身につけることができます。また、教育では常に「同期を大切に」との教育を受けます。同じ志を持った同期と苦楽を共にしていく中で切磋琢磨しあい、協力しあえる良きライバルであり良き親友が全国にたくさんいること、それが自衛隊の魅力だと感じます。

興味を持っている人は、ぜひ自衛隊に入隊して様々な経験を積み、自衛官として一緒に頑張りたいです。



私はその中で実際にお客様へ荷物をお届けする「セールズドライバー」として、山崎市内の配達業務に携わっております。

配達業務と言ってもただ荷物を運ぶのではなく、弊社の社訓にもあります「お客様のことをお慮りしている」という意識を持ち、日々配達業務に取り組んでおります。

特にお客様より「待っていたよ。」「ありがとう。」等感謝の言葉をいただいた時が、やりがいを感じる瞬間です。

私が自衛官として勤務した経験が現在の仕事において生きてくるのは「不測事態に対する心



ヤマト運輸株式会社山崎センター
浅川 豊

私は令和元年9月の任期満了に伴い、海上自衛隊佐世保警備隊を退職しヤマト運輸株式会社山崎センターに入社しました。

弊社は、大正8年の創業以来宅急便など各種輸送に関わる事業を行っております。



最後にありますが自衛官の皆様におかれましては、コロナ禍での訓練や勤務は大変だと思いますが、お体に気をつけて頑張ってください。私も今後予備自衛官として皆様に負けないよう訓練や勤務に励んでいきたいと思っています。

今後任期を満了して退職される方々においては、目の前に与えられた任務に対し全力で取り組むことが次の職場での勤務において自分自身の大事なステップアップに繋がりますので、任期を満了で部隊を離れるその日まで気を抜かず勤務に励んでください。

構え」と「柔軟な対応力」であると思っております。特に「お客様の満足度を追求すべき」という弊社の行動方針を達成するにはどうするべきかを考えて行動ができるのは、自衛官として「不測事態に対して常に最善の行動をせよ。」という諸先輩方のご指導の賜物と感謝しております。

県内で活躍する自衛隊OB紹介

自衛隊山梨地本便り

(発行) 自衛隊山梨地方協力本部
募集係広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

山梨地本
Twitter



Instagram



自衛官
募集中

採用試験受付中！



陸上自衛隊
高等工科学校

- 資格: 17歳未満の男子 (中卒(見込))
- 受付期間: 11月1日~1月14日まで
- 1次試験日: 1月22・23日

自衛隊貸費学生

知識と技術で拓くスペシャリストへの道！

- 資格: 大学の理学部・工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く。)修士課程在学(正規の修業年限を終る年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満))
- 受付期間: 1月14日まで
- 1次試験日: 1月29日

自衛官候補生

将来のキャリアアップを目指す！

- 資格: 18歳以上33歳未満の者
- ・年間を通じて随時募集しています
- ・試験日は決定次第お知らせいたします

陸海空自衛官集合!忍野中学校職業講話に参加

10月13日(水) 忍野村立忍野中学校で実施された職業講話に参加しました。

この職業講話は、自衛隊以外にもアナウンサーやネイリスト・看護師等14の様々な職種から講師を招き、生徒が希望する業種の講話を受けて将来の進路設計へ繋げるものです。

山梨地本からは陸海空自衛官それぞれ1名が、入隊の動機や職種の説明、従事した任務や業務の内容について体験談をもとに、写真やクイズを出しながら講話を実施しました。講話を聞いた生徒からは「災害派遣は陸海空自衛隊関係なく出動するのですか」「入隊するにあたり必要な資格はありますか」等多くの質問がありました。

回答に対し終始熱心にメモを取りながら講話を聴いてくれる生徒の皆さんの熱意に圧倒されました。今回の講話が今後の進路設計に役立てば幸いです。



【お問い合わせ先】山梨地方協力本部: 055-253-1591 大月地域事務所: 0554-22-1298

甲府募集案内所: 055-228-6427 同巨摩地区担当: 055-283-5150

【HP】<https://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/>



県内各地で広報活動実施



10月下旬から11月上旬にかけて、県内各地において広報活動を実施しました。

10月23日（土）及び11月3日（水）には、ヴァンフォーレ甲府のホームゲームが行われた小瀬スポーツ公園において、広報活動を実施し、10月23日には自衛隊体育学校所属であり山梨県笛吹市出身の乙黒圭祐3等陸尉及び乙黒拓斗2等陸曹（共にレスリング）が、11月3日には山梨県富士河口湖町出身の藤嶋大規2等陸曹（カヤックフオア）の参加を得て広報物を配布しました。オリンピック出場選手が参加したこともあり、ブースの前には終始、人が絶えることがありませんでした。



自衛隊山梨地本便り

【発行】
自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市内丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

「速度はどれくらいか」といった質問が寄せられました。また、自衛隊トークショーも行われ、自衛隊の任務や募集に関する紹介を行いました。

広報活動時に配布しているシリーズ化した缶バッジは、好評を博し、当日は全種類の缶バッジ収集を達成した方もおられました。

12月18日（土）に、河口湖ショッピングセンターBELLEにおいて広報活動を予定しています。会場で見かけたら、お気軽にお声掛けください。



10月30日（土）及び31日（日）には、富士山パーキングで開催された第13回ウルトラモーターフェスティバル及び第1回富士山自動車博覧会に参加しました。広報物の配布に加え、30日は82式指揮通信車及び偵察用オートバイが、31日は96式装輪装甲車及び軽装甲機動車が登場し、また、両日とも1/2トトラックを展示しました。来場者の方々からは「何人乗れるのか」、

音楽演奏会開催



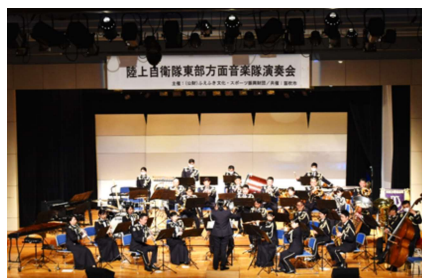
11月6日（土）笛吹市スコリーセンターで、翌7日（日）には、富士吉田市のふじさんホールにおいてそれぞれ開催された、陸上自衛隊東部方面音楽隊（音楽班長 2等陸尉 持丸周子）の音楽演奏会を支援しました。

両市での音楽演奏会は、当初今年6月に予定されておりましたが、新型コロナウイルスの影響により延期となり、今回の開催となったものです。来場された地元の方々には、演奏された、ゲーム「ドラゴンクエスト」のテーマ音楽やアニメ「鬼滅の刃」メドレーなどの人気曲に加え、音楽隊員のボーカルによるミュージカル「アニー」のTomorrow rowなどの曲目演奏に耳を傾けていました。



演奏を終えるたびに大きな拍手が起り、アンコールに応えて、「にじくきつとあしたはい天気」と山梨県では定番となっている武田節がボーカルを交えて演奏されました。

演奏を聴いた方からは「とても素晴らしい」「演奏を聴いて生きる活力をもらえた」といった感想や、「ボーカルの隊員が素敵なお会いました」といった声が聞かれました。



また、開演前には地元出身隊員の紹介が行われ、北富士駐屯地で勤務する高野友陸士長（笛吹市）と勝俣柚騎1等陸士（富士吉田市）がそれぞれ挨拶に立ちました。二人は、部隊での勤務や入隊して感じた自衛隊の魅力について紹介し、元気に勤務する隊員の姿に会場からは拍手が送られました。

山梨地本では、今後とも自治体等の計画する演奏会の支援を通じて、自衛隊音楽隊の演奏を多くの方に届けられるよう努めて参ります。



部隊研修実施中

入隊前の不安を払拭し、入隊「陸自についての理解が深まった」「入隊後の生活をイメージすることが出来た」といった感想が聞かれました。

12月も入隊予定者を対象とした研修を実施するなど、引き続き入隊後の生活に直接役立つ部隊研修を計画していきます。

北富士駐屯地に到着後、はじめに駐屯地の概要説明を受けた後、施設見学、第一特科隊の大砲の射撃を準備する訓練風景を研修しました。参加者は初めての訓練風景を目の当たりにし、隊員の説明に熱心に耳を傾けていました。

また、男女別に隊員との懇談も行われ、参加者から「訓練についていけますか」や「教育隊の教育の内容」についてなど様々な質問がありました。



装備品紹介（坑道掘削装置）

陸上自衛隊は、最先端の技術を集めた装備を有しており、これらを使いこなすために、あらゆる角度から体系的な教育・訓練等を行って行っています。装備品の中には、隊員でもあまり目にしたことのないものもあります。今回は、その様な珍しい装備品の一つである坑道掘削装置を紹介いたします。

坑道掘削装置は、坑道式構築物を掘削するために使用する器材です。掘削機本体、支保工作装置、ずり搬出装置、給電装置、地質調査器材及び環境保全装置等から構成されています。

